



韓国 MERS 患者医師忠告を拒絶 発熱後来中し隔離に

湖北荆楚網

news.cnhubei.com 2015-05-29

17:06

来源：北京晚报

MERS 中国に侵入

韓国疾病管理センターは 28 日、「更に 2 名が MERS に感染したことにより、このウィルス感染者数が 9 人となった。その他に、MERS 患者と濃厚接触のあった韓国人男性 1 名が 26 日に中国に向けて出国していたこと。広東省衛生計生委が、この男性が既に隔離治療を受けていると通報」したことを認めた。

動向

濃厚接触者相次ぎ『当たり』

韓国初の MERS 患者は 68 歳、4 月中旬に中東三か国を旅行し、5 月 4 日に帰国し、20 日に確診された。その後、彼の妻（63 歳）および同一病室の 76 歳の男性が不幸にも『当たり』くじを引いてしまった。更に、76 歳男性の娘も数時間病室に留まっていた間に感染。新たに増えた 2 名の患者は、第 1 号患者の看護をしていた 28 歳のナース；もう一名は、第 1 号患者と部屋を同じくしていた 71 歳入院患者だ。これまでに第 1 号患者と濃厚接触があったほぼ 73 名は自宅で隔離観察を受けている。

嚴重警戒

北京には検査能力あり

記者が、北京市 CDC から聞いたところでは、ここ数年、疾病管理システムとして毎年 MERS のトレーニングと訓練を実施しているとのことだ。疾病管理部門は、「もし北京市で輸入性患者が見つかったら、疾病管理スタッフが国家及び北京市の関連予防管理法案に基づき速やかに措置を採り、流行を最小限の範囲に抑え込むようにする。疾病管理部門は、既に医療衛生機構による MERS のモニタリングシステムを確立しており、更に、MERS ウィルスの実験室での測定方法も確立している。モニタリングおよび検査能力は具備している」と語る

北京市 CDC は、現時点では MERS には特効薬もワクチンもないこと、MERS の基本知識を理解し、しっかりと予防することが重要であると市民に訴えている。疾病管理部門は、中東に行く人又は韓国の様に最近流行が発生した国に渡航や商売、海外出稼ぎ、巡礼等に出かけた後に、入国しても発熱や咳、胸のつかえ、呼吸困難など急性の呼吸器疾患の症状が現れた場合、自ら進んで出入国検査の検疫機関に状況を告げるようにし、衛生検疫部門に協力して関連の医学検査や調査に協力せねばならない；帰国後 14 日以内に、急性呼吸器疾患の症状が出た場合には速やかに病院に行かねばならないが、診察時にはマスクをし、病院に行く際に公共交通機関利用を極力避けること、医療スタッフには自ら進んで渡航歴及び現地での暴露歴を告げ診断と治療をすぐに行うようにすることとアドバイスをしている。北京の国際交通が頻繁であることを考慮すれば、それによる輸入性患者が発生するリスクは存在しているのだ。本紙記者 賈曉宏

注目

発熱直後の中国へのフライト

昨日、広東省衛生計生委は、「広東省初の輸入性中東呼吸器症候群（MERS）疑い患者が見つかった。韓国で MERS 患者と確診された人物の濃厚接触者が、香港経由で入国、広東省惠州市に至り、既に発熱症状が出ている」と発表した。

惠州市衛生京成部門は 28 日深夜に韓国人男性を定点医院に転送して隔離治療を行い、その濃厚接触者は隔離観察を行っているが、今までに見つかった濃厚接触者は 35 名、いままでのところ異常は見られていないと発表した。

この韓国人は、MERS 患者の濃厚接触者。5 月 21 日には既に症状が現れ、25 日の体温は 38.7℃だったが、26 日に OZ723 便で香港経由し、惠州に入ってきたものだ。

韓国メディアによれば、この 44 歳の男は、韓国第 3 の MERS 患者の息子。この男は、5 月 16 日に病院で父に会っており、病室には数時間とどまっていた。19 日、発熱等の症状が現れた。まだ確診されてはなかったが、MERS によく見られる体温が異常に高い症状が現れており、自宅での隔離観察を受けていた。25 日に、医師が中国への出張計画を取り消すように指示をしたが、この男は医師の意見に耳を貸さなかった。27 日、韓国衛生当局がこの男が出国してしまったことを確認し、直ちに WHO 及び中国衛生部門に通報をした。28 日、韓国保健福祉部疾病管理本部は、この男が韓国第 1 号の MERS 患者から感染したこ

とを認めた。

中東呼吸器症候群 MERS

来歴

SARS 同様のコロナウイルス

2012 年下半期、サウジアラビアで最初に腎機能衰弱を伴う急性呼吸器症候群患者が散発的に見つかって広がったものだが、病原体を検査したところこれらの患者が新型のウイルスに感染していることが判明した。これは皆がよく知っている非典（SARS）ウイルスと同様なコロナウイルスだが、タイプは異なり、その感染力は非典（SARS）程強くはない。

その後、ヨルダン、カタール、UAE、フランス、ドイツ、イギリス、アメリカで前後して確診患者が見つかった。WHO が、この新型コロナウイルスに対して『中東呼吸器症候群コロナウイルス』と命名した。これまでに、このウイルスに約 1,000 人が感染し、400 人以上が治らぬまま死亡している。

症状

潜伏期は 2～14 日

MERS の潜伏期は、2 日から 14 日で、発熱や、咳、呼吸困難等の症状を伴う。重症化した患者では、肺機能衰弱になるものや死亡することもある。現在、ワクチンも治療薬もないが、伝染性は強くはない。

宿主

中東地区のヒトコブラクダ

これまでの研究の結果知られているのは、この種のウイルスの源泉が、中東地区にいるヒトコブラクダであること。最初は、サウジアラビア人が飼育していたラクダが病気になった際に鼻孔に薬を塗布したのちに感染死した。この患者が感染したウイルスと、病気のラクダおよびその厩舎内の空気サンプルから見つかった新型コロナウイルスの遺伝子の断片が完全に一致した。アメリカとサウジアラビアの研究者は、このウイルスはラクダの体内に広播に存在しており、既に二十数年潜伏しているという。

伝播

ヒトヒト感染能力あり

この種のウイルスが、感染ラクダの周囲の空气中に存在する時間は比較的短く、このウイルスが空気伝播するののかについては今しばらく研究結果を待たれるところだ。これまでにすでに知られている状況は、ラクダに直接接触せずにこのウイルスに感染した人が非常に多いが、彼らには、感染前に中東を旅行していた、或は、中東旅行をした患者との濃厚接触歴がある。この新型コロナウイルスは既に有限的なヒトヒト感染能力があるが、このウイルスが持続的ヒトヒト間伝播力を有するか否かは未だ証明されていない。

防御

病気ラクダとの接触回避

この新種のコロナウイルスに対しては、今のところ特効薬もワクチンもない。個人防御の面から、専門家は、中東地区でラクダを飼育或は屠殺している人は、マスクをし、手袋を装着し、防護服を着ること、手洗いを励行すること；中東に渡航する人は、病気のラクダとの接触を避けること；ラクダの厩舎にはいたり、関連農場或は市場に入ったりして働く人は事前事後に手を洗うこと；ラクダのミルクは加熱して引用すること、ラクダ肉もまた、良く火を通してから食べることが重要だ。新華社情報に基づく

<http://news.cnhubei.com/xw/gn/201505/t3270281.shtml>

..... 以下は中国語原文

韩国 MERS 患者拒绝医生劝告 发烧后来中国被隔离

湖北荆楚网 news.cnhubei.com 2015-05-29 17:06 来源：北京晚报

MERS 潜入“中国”

韩国疾控中心 28 日证实，又有两人被确诊感染中东呼吸综合征（MERS）冠状病毒，至此，感染这一致命病毒的患者人数已增至 9 人。此外，一名与中东综合呼吸征患者有过密切接触的韩国男子被证实 26 日出境前往中国。广东省卫计委通报，该男子已接受隔离治疗。

动态

密切接触者相继“中招”

韩国首例被确诊的中东呼吸综合征患者 68 岁，4 月中旬曾前往中东三个国家旅行，本月 4 日返回韩国，20 日被确诊感染这种新型冠状病毒。随后，他 63 岁的妻子以及同病房一名 76 岁男子也不幸“中招”。接着，76 岁男子的女儿也因在病房停留数小时而染病。新增的两名患者，其中一人是 28 岁的护士，她曾照看过首例患者；另一名新增患者 71 岁，曾与首例病患同住一间病房。目前有大约 73 名曾与首例患者有过密切接触的人在家接受隔离观察。

严防

北京具备检测能力

记者从北京市疾控中心了解到，最近几年，市疾控系统每年都开展针对中东呼吸综合征的培训和演练。疾控部门表示，一旦北京市发现输入性病例，疾控人员将按照国家和本市有关防控方案及时采取措施，将疫情控制在最小的范围。疾控部门已经在医疗卫生机构建立了针对中东呼吸综合征的监测系统，并建立了中东呼吸综合征病毒的实验室检测方法，具备监测和检测中东呼吸综合征的能力。

北京市疾控中心提醒公众，目前中东呼吸综合征尚无特异性治疗措施和疫苗，了解中东呼吸综合征的基本知识、做好预防是关键。疾控部门建议赴中东国家或到近期有疫情发生国家（如韩国）旅游、经商、劳务输出、朝觐的公众在入境时，如果出现发热、咳嗽、气促、呼吸困难等急性呼吸道症状，应当主动将患病情况向出入境检验检疫机构申报，并配合卫生检疫部门开展调查及相应医学检查；回国 14 天内，如果出现急性呼吸道感染症状，应当及时就医，就诊时应佩戴口罩并避免乘坐公共交通工具前往医院。主动向医护人员告知近期的旅行史以及在当地的暴露史，以便及时得到诊断和治疗。考虑到北京国际交往频繁，因此发生输入性病例的风险是存在的。本报记者 贾晓宏

关注

刚发过烧乘机来中国

昨天，广东卫计委通报，广东出现首例输入性中东呼吸综合征（MERS）疑似病例。韩国 1 例确诊中东呼吸综合征病例的密切接触者经香港入境广东省惠州市，已出现发热症状。

惠州市卫生计生部门于 28 日凌晨将这名韩国男子转送至定点医院进行隔离治疗，并对其密切接触者就地隔离观察，已搜索到密切接触者 35 人，暂未出现异常。

这名韩国男子属 MERS 病例的密切接触者。5 月 21 日已出现不适，25 日体温 38.7℃。26 日乘坐 OZ723 航班抵达香港，后到达惠州。

据韩国媒体报道，这名 44 岁的男子是韩国第三例中东呼吸综合征患者的儿子。这名男子 5 月 16 日曾前往医院探望父亲，在病房停留几小时。19 日，他出现发烧等症状。虽未确诊，但由于出现体温过高等中东呼吸综合征常见症状，曾在家中接受隔离观察。25 日，医生建议这名男子取消前往中国出差的计划，不过，他没有听从从医生的建议。27 日，韩国卫生当局确认该男子出境，即通知了世界卫生组织和中国卫生部门。28 日，韩国保健福祉部疾病管理本部证实，这名男子是通过韩国首例 MERS 患者传染的。

中东呼吸综合征 MERS

来历

与 SARS 同属冠状病毒

自 2012 年下半年开始，沙特阿拉伯最先开始零星出现患有急性呼吸系统综合征并伴随肾功能衰竭的病人，病原体检测显示这些患者均染有一种新病毒。它与人们熟知的非典病毒同属冠状病毒，但类型不同，其传染性弱于非典病毒。

此后，约旦、卡塔尔、阿联酋、突尼斯乃至法国、德国、英国、美国先后发现该病确诊病例。世界卫生组织将这一新型冠状病毒命名为“中东呼吸系统综合征冠状病毒”。截至目前，该病毒已导致约一千人患病，400 多人不治身亡。

症状

潜伏期 2 天至 14 天

中东呼吸综合征潜伏期在 2 天至 14 天，患者伴有发热、咳嗽、呼吸困难等症状，严重的病例会出现肺功能衰竭和死亡。目前尚无疫苗和治疗药物，但传染性不强。

宿主

源于中东单峰骆驼

据已知的研究结果，这种病毒的源头宿主是中东地区的单峰骆驼。曾有沙特人为其饲养的患病骆驼的鼻孔抹药施治后染病死亡。该患者所感染的病毒与患病骆驼和骆驼棚内空气样本中发现的新型冠状病毒，在基因片段方面完全一

致。美国和沙特研究人员说，该病毒广泛存在于骆驼体内，已潜伏了 20 多年。

传播

具有人传人能力

这种病毒在患病骆驼周围的空气中存在时间较短，该病毒能否通过空气传播还有待进一步研究加以证实。目前已知情况是虽然很多感染该病毒者没有直接接触过骆驼，但他们要么在患病前去过中东旅行，要么与去中东旅行的患者有过密切接触。这种新型冠状病毒已具备有限的人传人能力，但无证据表明该病毒具有持续人际传播能力。

防护

避免接触病骆驼

针对这种新型冠状病毒，目前尚无特效药和疫苗。在个体防护方面，专家建议中东地区饲养或屠宰骆驼的人要戴上防护面罩、手套，并穿上防护衣，勤洗手；赴中东旅行者要避免与患病骆驼接触；进入骆驼棚、相关农场或市场的人要在事前事后洗手；骆驼奶要加热饮用，骆驼肉也要烹饪熟再吃。据新华社

20150529D 韩国 MERS 患者医师忠告を拒否 発熱後来中し隔離(荆楚網)